

上板町立東光小学校

1 学校の概要

① 児童数 122名

② 教育目標

「個性を育み，自ら学ぶ意欲と心豊かにたくましく生きる力をもつ児童の育成」

③ めざす児童像

- 「確かな学力」を身につける子
- 人権尊重の精神を培い，「豊かな心」を育む子
- 「健やかな体」を育む子

④ 環境目標（テーマ）

「東光の自然を守り，地球にやさしい生き方のできる子どもの育成」



2 行動方針

① 節電・節水に努める。

- 校内のすべてのスイッチや蛇口付近に節電・節水を呼びかけるシールを貼り，注意を促す。
- 使用していない教室や廊下の照明をこまめに消す。
- 歯みがきコップ，ぞうきんバケツなどの利用により，水のむだづかいをなくす。

② 排出ゴミを減らす。

- ゴミの分別収集をきちんと行う。
- 学年だより等で，家庭に取り組みを知らせると共に，ゴミ分別を家庭にも呼びかける。

③ 環境などについて学習する。

- 地域の伝統産業である藍についての学習を深め，藍染め作品の販売を通して地域に藍のすばらしさを発信する。

3 行動（上記の③について例示）

上板町は，吉野川の北岸に位置し，豊かな自然に囲まれた農業地帯である。全国的に有名な藍は上板町の特産物として地域で大切に受け継がれている。

本校では，10年ほど前から，学校園での藍栽培を行い，藍建てや藍染めに取り組んでいる。本年度も，藍の種まきから収穫にいたるまで，地域の藍農家の方の協力を得ながら，全校児童で取り組んだ。また，すくもから藍液を作る藍建ての作業を4年生が中心となって行い，その藍液を使って全校児童が藍染めの体験をした。また，藍染めの作品を地域の方々に販売することを通して，藍のすばらしさを地域の方々に発信することができた。

藍の栽培から藍液の製法にいたるまで藍について様々なことを学ぶことを通して，伝統を支えてきた地域の人々や先人のすばらしさ，さらに地域の豊かな自然環境を守ることの大切さを学ぶことができた。



藍の種まきの様子



藍の刈り取りの様子



藍染めの様子



藍染め作品の販売の様子

4 具体的効果

- ◆ 職員室では、印刷された用紙の裏面を利用するようになった。
- ◆ 電気の使用については、大切に使用しようとする意識付けができてきた。例えば、使っていない教室などの電灯がついたままになっているというのがほとんどなくなった。
- ◆ 水の使用についても、大切に使用しようとする意識付けができてきた。児童はもちろんのこと、教職員も歯みがきのときにはコップを使用するようになった。
- ◆ 藍に関する学習を通して、地域の自然や環境に目を向けるようになり、地域の自然や環境を大切に守り育てていこうとする意識が高まった。
- ◆ 藍に関する学習を通して、地域の方々との結びつきが強くなり、地域と一体となった取り組みが進められた。

5 改善点

- ◆ 環境に対する意識が高まってきているので、高まった意識と活動を継続させることが課題になっている。児童がさらに自発的に活動できるよう指導していく。
- ◆ 児童の家庭においても環境に対する意識が高まってきている。さらに学校から家庭や地域に発信する機会を増やすとともにその方法を工夫することによって、地域ぐるみで環境問題に取り組み、子どもたちの生活に環境保全のための意識や行動が定着するようにしたい。
- ◆ 来年度は、本年度の取り組みをさらに発展させていきたい。児童自らの実践が、地球環境を大切にする活動に大きくつながっていることに気づかせ、環境問題についてのより深い学習をしていこうとする意識を高めていきたい。